

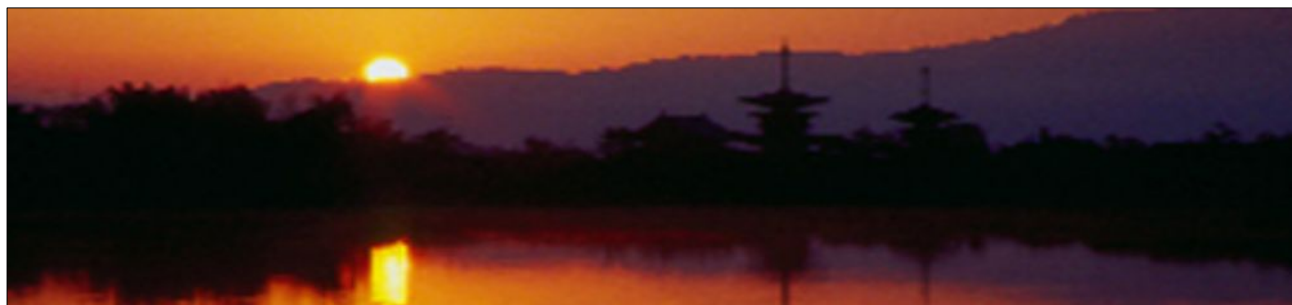
新産会



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 山田茂樹
編集責任者 他力博
平成22年1月1日 発行

共に国際社会を生き抜く、一期一会

<http://www.shinsankai.gr.jp>



新年寅年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。平成22年虎年が会員の皆様方にとって良い年でありますように心からお祈りを申し上げます。

昨年は内外ともに動きの激しい一年でありましたが会員の皆様には、新産会諸行事に格別のご理解とご協力をいただき感謝を申し上げます。

さて、政権交代により、自民党・公明党連立より民主党、社民党、国民新党連立政権に代わったことにより更に景気の冷え込みが予測されることが懸念されます。外交ではアメリカ依存から中国等のアジア圏へシフトされるかの外交政策がめだっております。

一方、国内政策は「コンクリートから人へ」のスローガンで、まるで企業優遇をやめ国民優遇をあたかもするような施策が目白押しな施策を前面に押し出している政策ばかりであります、労組基盤の政府のやり方は、夏の参院選勝利の為に行っている様に思えるのは私だけでしょうか。新産会スローガンであります「共に国際社会を生き抜く一期一会」のもとに会員相互の連携と情報交換等を更に深めて中小企業経営者である我々が今こそ一致団結し、少しでも明るい未来を築いていこうではありませんか。

政府施策に留学生30万人受け入れ事業が閣議決定されており、（現在約13万人在留）将来の国内経済空洞化の穴埋めとして計画されていますが、弊社の経営致す日本語学校も毎年学生の定員を増やしつづも絶えず満杯の状態であります、この事からも政府は国内製造業が海外移転のシフトが更に増える事を予測しております。また、政府は少子化対策として「子ども手当」を創設予定ですが、弊社の社福母体の保育事業は本園のみでは待機児童の解消にならず現在分園を2ヵ園運営しておりますが、今年度以降、児童福祉事業は更に活発化をしていくと予想されます。

最後に会員の皆さまに伏してお願い致したき事がございませぬ、私の会長歴も2期3年がたっておりますが、愛知労働センターも新しくなり、毎月の理事会開催場所が名古屋駅近くなり交通の便が大変良くなりましたので、どうか「新産会理事会」へ会員の皆さんがより多くお集まりを頂きますようお願い申し上げます、新年の御挨拶の結びとさせていただきます。



会長 山田茂樹

愛知県産業労働部長との勉強会

毎年恒例の愛知県産業労働部長との勉強会が、さる12月10日（木）名古屋国際ホテルにおいて開催されました。参加人数は36名でした。

◆愛知県産業労働部長 富吉賢一様のお話から

経済産業省入省から独立行政法人の今日まで仕事をする上でいつも心がけていることについて話します。上の立場になるにつれ、また専門性の高い部署で判断に迷うことがありました。そこで誰もが持っている常識（Common Sense）を基準にしています。そして絶えず自分の常識が正しいか自問しています

今の部署に来る前は、国際金融関連のファイナンス部門で金融のプロの申請書をジャッジしておりました。ここで常識を基準にすることを考えました。誰でもわかる視点で物事を判断できることが基準になる。

サブプライムローンの問題や政府が実施した事業仕分なども同じように誰でもわかる視点で考えればサブプライムローンが破綻することが理解できたとし、事業仕分での各省庁や独立行政法人の説明も各議員や専門家の方々に理解できるように説明できればかなり違う答えが出たかもしれません。愛知県は今は金融支援・技術支援に力を入れています。あらゆる施策をどう使ってもらうかをいろんな団体・企業に広報しています。特に大手企業が雇用調整助成金や政府系ネットを利用していただいていますので中小企業の方々も利用率が上がっております。

自民党から民主党に政権交代して、地方の声を中央へどう届けるかを最近では耳にします。嘆願や陳情などは地元の国会議員もしくは秘書に今までのように持って行けば繋げていただけたと思います。政権交代しても地方の声を無視して運営は出来ないと思いますし、地元の議員はそこで活動しなければ国会議員として成り立ちません。



<講師：富吉賢一様>

◆会員企業事例発表

- ・フルハシEPO(株) 取締役副社長 山口昭彦 様、古川智美 様
- ・(株)ヤマキ 代表取締役 鈴木英昭 様
- ・ライノセラス総業(株) 代表取締役 柘植みどり 様
(発表内容は紙面の都合により、割愛させていただきます)



<左から 山口様 古川様、鈴木様 柘植様。それぞれ自社の業績や要望など、多岐にわたり熱心な報告がなされ、非常に興味深いものでした>

◆忘年会

勉強会に続き、忘年会がにぎやかに行われ、会員一同、来年にむけて意欲を新たにいたしました。
(34期 他力)

予告 次回理事会開催時の講演会

- 日 時 平成22年1月12日(火) 午後6時～
- 場 所 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 15階
- 講 師 鬼頭 明孝氏(35期) (株)鬼頭精機製作所 代表取締役社長

新春を迎えて

愛知県知事 神田真秋



あけましておめでとうございます

県民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

今年が、皆様方にとりまして、充実した一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、最近の経済状況は、生産活動の回復などから企業収益によりやく明るい兆しが見られますが、雇用・所得環境は依然として厳しさが続いております。さらには物価の下落や為替相場の急激な変動などの懸念材料もあり、景気は予断を許さない状況にあります。

こうした厳しい状況の中で、新しい年を迎えますが、県民の皆様方とともに、この難局を乗り切り、愛知の未来に向け力強い一歩を踏み出してまいりたいと考えております。

昨年、アメリカ、日本で政権交代が起こるなど世界的に大きな変化を感じさせる年でありました。とりわけ、我が国の政権交代は歴史的なことであり、様々な分野に影響が及んでくると見込まれますが、こと県政運営にあたっては、県民の皆様方の目線でしっかりと舵取りを行ってまいります。

このため、まず当面は、雇用対策や中小企業の経営支援など地域経済を下支えするとともに、地域医療の充実や子育て・子育て環境の整備、交通安全対策など県民の皆様方の日々の安心、安全の確保に力を注いでまいります。

その上で、中長期を展望した愛知の発展に向け、航空宇宙産業などの次世代産業の育成、将来の飛躍の基盤となる社会資本の整備、来たるべき低炭素社会に向けた取組などを積極的に進めてまいります。

また、いよいよこの夏から秋にかけて、地域を挙げて準備を進めてきた二つの大きな事業、環境分野における最大級の国際会議であるCOP10と国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」が開催されます。ぜひともこれらを成功させ、愛知の総合力をさらに高めてまいりたいと考えております。

新しい年も、引き続き本県財政は厳しい状況が続きます。徹底した行財政改革を進めることはもちろんであります。大きな時代転換の本質を見極め、現下の危機の克服と将来にわたる愛知の発展に全力で取り組んでまいり所存であります。

県民の皆様方の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成二十二年元旦